

姉妹・友好都市

SISTER CITIES NEWS

ニュース

協会報

第 16 号

平成 3 年 5 月 18 日 発行

編 集 ・ 発 行

茨木市国際親善都市協会



スポーツ親善訪中団と中国選手連で記念写真

目次

- 安慶市で2回目のスポーツ交流 P 2 ・ P 3
- 安慶市の農業の現況 P 3
- 安慶市書画・物産・切手展開催 P 4
- 周年事業の報告 P 5
 - 紅葉映える内海町へ市民訪問団 P 6 ・ P 7
 - 平成3年度の国際交流予定 P 8

安慶市で2回目のスポーツ交流

水 泳

卓 球

安慶市との2回目のスポーツ親善大会が3月26日と27日、安慶市青少年宮と遊泳館で行われました。

中学生の水泳チーム13人、卓球チーム14人からなる「茨木市スポーツ親善訪中団」は総勢34人で、3月23日大阪国際空港を発ち、上海で1泊した後、翌日は「天に極楽あれば、地に蘇州、杭州あり」とうたわれた古都蘇州に遊び、25日安徽省の省都会肥市を経て安慶入りしました。到着後は、ホテルで一休みし、安慶市政府を表敬訪問した後、会場の下見を行いました。



安慶市青少年宮で茨木チームの奮闘

親善大会は26日午前8時30分、少年少女音楽隊の演奏で始まり、安慶市副市長と訪中団団長の鈴木敏正氏がそれぞれ2回目のスポーツ交流について祝辞を述べた後、茨木市と安慶市の選手代表が

挨拶し、ペナントを交換しました。

26日、27日も午前が、青少年宮で卓球の試合、午後は遊泳館で水泳の競技が行われました。試合に出場しない選手達は、安慶市の学生達と一緒に応援したり、カタコトの英語や中国語で話をかわしたり、緊張をほぐす楽しい時を過ごしました。

試合は、水泳で男女各11種目の競泳が行われ、



“你好中国”

卓球選手 佐々木 美穂

中国に着いた時、さえぎられることのない青い空、自転車が風のように行きかう道路…、何を見ても新鮮で素敵な印象でした。また、中国の子供達とふれあった時間は、何ものにも代えられない貴重な気がします。

“你好”から始まって、長いようで短かった8日間でしたが、今でも上海空港での“再见”のつぶやきが舌の上でころがっています。

安慶市の農業の現況

奈良町 奇二 脩



野菜基地を視察する奇二、中野、河原の各氏

今度は茨木市で

水泳選手 奥田智成



友好試合でとても緊張した事や、試合終了後にプールの隣にある風呂で安慶の選手達と交流ができた事など、とてもよい思い出ができました。また、中国の人達はとても明るく、いつも僕達を温かく迎えてくれました。

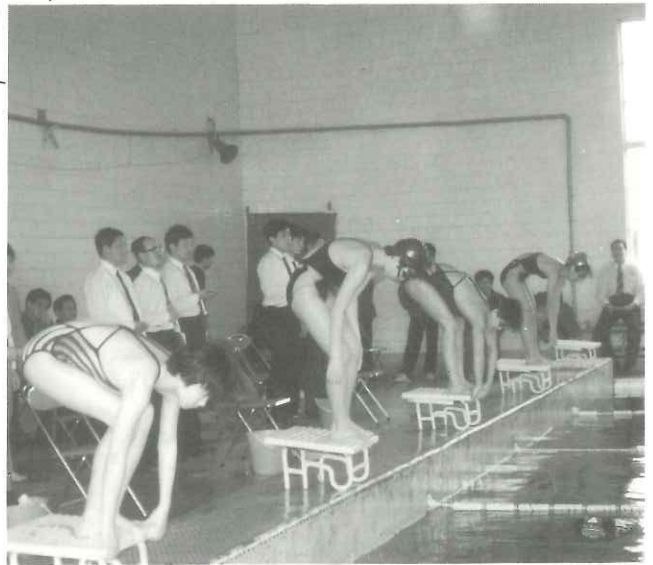
今度はぜひ、安慶市から茨木市へ来てもらい、また一緒に水泳などの試合ができることを望んでいます。

男子が優勝6、2位6、3位3、女子が優勝2、2位4、3位5、卓球は男女各シングルス、ダブルス、混合ダブルス、それに成人シングルスで戦い、女子シングルスと男子ダブルスで優勝、ほかに2位3、3位4の好成績を収めました。

27日夜にはホテル大ホールで、表彰式が行われ、審判長の結果報告の後、安慶市指導者と鈴木団長から相手チームへ表彰が行われ、選手達の健闘をたたえました。表彰式後は、青少年宮の小学生達が劇や踊りで競技の疲れをいやしてくれました。



蘇州の街を楽しむ訪問団



安慶市遊泳館で行われた競泳-スタート前の緊張

—*

去る1月20日から27日の間、農業指導ということで、友好都市・安慶市を訪問しました。友好・親善という形では、数多くの方々を訪問されていると思いますが、今回のようにどろんこになりながら、直接農村に入り農家の方々と対話できたことは、まことに有意義であったと思います。

安慶市を訪問してまず感じたことは、この地方の農業や農村の状況が、40~50年前の日本と非常によく似ていることでした。

私達が訪問した農村は、

1. 安慶市桐城県徐河郷
2. 〃 任店蔬菜基地
3. 〃 新洲郷意揚基地です。

今回は、新洲郷意揚基地について述べてみます。新洲郷といいますが、これは揚子江の中にある3つの島からなっていて、総面積30,000ムー(約2,000ha)内耕地面積は10,000ムー(約660ha)、人口は14,000人、農業は綿花を主として、稲作はできない土地です。

現在、力を入れているのが林業であって、成長が早く適応性があり水にも強いので、8年前からイタリアポプラを導入しています。現在、13,000ムー(約850ha)に植えられています。その他に4種の菌類が栽培されていて、400tの収穫があるとのことでした。これからは、こういったものが期待されるのではないのでしょうか。

友好都市締結5周年記念で

安慶市書画・物産・切手展を開催

▶ 安慶市書画の名作を鑑賞する市民



昨年十月、市民会館（ユーアイホール）ドリームホールで「安慶市書画・物産・切手展」が開催されました。
友好都市締結5周年を記念したこの展示会には、安慶市で活躍している書画家の名作と安慶市の物産、それに、中国切手が展示され、市民の好評を博しました。



物産展を見学する重富市長、小矢田議長（当時）

昨年10月12日から19日まで「安慶市経済貿易友好代表団」一行10人が来訪しました。

安慶市副市長を団長とする一行は、到着の日から、表敬訪問や施設見学、協会役員との懇談を行った後、10月15日から市民会館（ユーアイホール）ドリームホールにおいて、友好都市締結5周年記念の「安慶市書画・物産・切手展」を開催しました。

会場は書画、物産、切手の各コーナーに分かれ、書画コーナーには、安慶市の画家・書家の名作80点が展示され、そのうち30余点が市民によって購入されました。

会場の半分を占めた物産コーナーでは、絹糸、染色絹地、純綿やウールの服など繊維類、ミンクなどの毛皮類、磁器タイル、ガラスカッターなどの工具、竹製の箸や器、ござ、それに、筆や絵巻などの工芸品等約80種類の安慶市の製品を展示し、見学者の関心を集めました。

現在、中国で切手ブームのため、安慶市からの希望で設けられた切手コーナーには、“中国切手にみる日本漢詩”など8つのテーマで中国切手150枚がパネル展示され、切手を通じて見る現代中国の諸相に、連日200人を超す市民が感動しました。

書画展によせて

下中条町 高岡花子



友好都市締結後、早や5年、両市の交流は年々深まり、教育・文化の優れた特色を紹介され、感動を深くしております。書・水墨画もさすがにお家元です。前回好評を博した書画展が再現され、前回印象に残った作家の方々の作品に触れることができ、懐しく拝見しました。併設の物産展も安慶市の鋳工業の繁栄ぶりを知るよい機会でした。



昨年は、ミネアポリス市と姉妹都市提携10周年、安慶市と友好都市締結5周年にあたるため、盛りだくさんの周年記念事業が実施されました。

その多くは第15号の「姉妹・友好都市ニュース」でお伝えしていますので、その後実施された事業を報告します。

昨年11月に、本市友好訪中代表団が安慶市を訪れた際、2日間にわたって、安慶市工人文化宮で「中日切手合同展」が開催され、代表団が持参した日本切手パネル47枚と中国側の切手パネル250枚、それに、書画交換で送られていた茨木市民写生大会の入賞作品と市立幼稚園・小学校・中学校から

周年事業

ミネアポリス市から図書贈呈のお礼
安慶市で「中日切手合同展」

の絵画・書が安慶市民に公開されました。
今年に入ってから、ミネアポリス市と安慶市に、茨木や大阪についての紹介、日本に関する概説書、歴史や政治・経済、文化・芸術など広範囲の日本を紹介する書籍を贈呈しました。

ミネアポリス市へは、日本語の学習用教材や児童文学などをそろえ、安慶市へは、経営に関する書籍、文学全集、美術全集などを加えました。

ミネアポリス市では既に、教育委員会から各学校に贈呈図書を配布しており、早速、ミネアポリス市の中学校から礼状とともに寄せ書〔写真〕が送られてきました。

また、ミネアポリス市、安慶市からの祝辞をのせた「周年記念誌」を作成しました。



安慶市で開催された「中日切手合同展」

安慶市農業技術視察団来茨



トラクターの説明をうける訪問団員

1月に本市農業指導者が安慶市を訪れたのに呼応して、2月26日から3月5日まで「安慶市農業技術視察団」一行5人が来茨しました。

一行は、茨木市との農業交流を深める目的で来茨したもので、市役所や農協を表敬訪問したほか、市内の各種ハウス栽培施設や食菌工場を視察し、また、朝早くから府中央卸売市場を見学しました。

協会役員や友好都市委員会との懇談会ももたれ、「農業は国の経済の基礎である」ことを中心に熱心な話し合いがありました。

英語スピーチ大会 年ごとにレベルアップ

“英語を通して、青少年に国際感覚を身に付けてもらおう”と始めた本協会主催の「英語スピーチ大会」も、7回目を迎え、昨年11月3日（文化の日）、茨木市福祉文化会館（オークシアター）文化ホールで開催されました。

次代を担う出場者達の堂々としたスピーチは多数の聴衆の共感を得ていました。入賞された皆さんは次のとおりです。（敬称略、学年は当時）
 [中学生の部] 〈優勝〉後岡亜由子（三島中2年）
 〈2位〉松野早恵（西陵中3年）〈3位〉青木香子（北陵中3年）〈ジャパントイムズ賞〉寺井嘉奈子（西中3年）
 [高校生の部] 〈優勝〉糸原幸恵（三島高2年）
 〈2位〉山崎理恵（同志社女子高2年）〈3位〉阿部祐子（茨木西高2年）〈ジャパントイムズ賞〉糸原幸恵（三島高2年）

もっと国際交流を

三島中3年 後岡亜由子



幼い頃から英語が好きで、このチャンスが大変嬉しかった。毎日文章を50回位読むことに専念したら、自然に文章が出るようになり、暗唱に力を入れたのは3日位前からでした。当日は大変リラックスでき、日頃の成果が発揮できました。これを機会に、もっと国際交流をしていきたいです。

一位入賞で自信

三島高3年 糸原幸恵



私は、「日本人の責任と義務」について「私達はもっと視野を広くもつ必要がある」という事を述べました。そして高校生の部で一位に入賞することができたことは、私にあらゆる事への大きな自信を持たせてくれ、将来いろいろな場面で励みになるだろうと思います。

紅葉映える小豆島内海町



昨年の11月14・15日、紅葉映える小豆島の姉妹都市・内海町を総勢28人の市民親善訪問団が訪れました。

初日は、まずオリーブ記念館において、内海町の皆さんの出迎えを受け、「内海町への表敬訪問」を行いました。そして、オリーブ公園を見学し、田ノ浦岬へ向かい、小説『二十四の瞳』の舞台となった「岬の分教場」や「二十四の瞳館」「二十四の瞳映画村」を訪ね、ようやく、宿泊先である「茨木市市民海の家」に到着しました。夜の懇親会は、内海町の方の指導により、『オリーブの歌』を全員で合唱するなど、なごやかなひとときを過ごしました。

翌日は、「小豆島民俗資料館」「マルキン記念館」「太陽の丘（オリーブ神殿）」を見学したあと紅葉の名所「寒霞溪」を訪れました。ロープウェイからは溪谷の紅葉を、そして「四方指」からは内海湾を背景にした雄大な紅葉を堪能したあと

協会会員を募集

本協会では、姉妹・友好都市交流をはじめ、国際親善に熱意を持っておられる方々の入会を心からお待ちしています。

会員には、年2回発行しています協会報などによる本市国際活動情報の提供、会の催す姉妹・友好都市との交流行事・ゴルフコンペ等へのご案内をいたします。

〈会費（年額）〉 個人会員（一般） 2,000円
 （学生） 1,000円
 団体・法人会員 一口 5,000円

〈申込先〉 協会事務局（市役所3階自治推進課
 国際交流係 ☎22-8121 内線2143）

へ市民訪問団



「八人石丁場跡」に立寄り、福田港へ向かいました。

行きのフェリーに乗り遅れるというアクシデントで始まった今回の訪問でしたが、道中・訪問先での親切なご案内・おもてなし、素晴らしい景色、幾重にもかさなりあった紙テープでのお別れ、帰路のバス内での団長提供のゲーム等々いくつもの思い出が胸に残る旅でした。



新設のオリーブ記念館前での記念写真



海の家前の浜辺風景

「市民海の家」をご利用下さい

茨木市では、市民の皆さんが、ご家族やグループで気軽に内海町を訪ねていただけるようにと、「市民海の家」を開設しています。お泊まりに、休憩に、ぜひご利用下さい。詳しくは、市役所3階自治推進課まで。

料 金 表

区 分		料 金	利 用 時 間
宿 泊	1人1泊	大人(高校生以上)	16:00～ 翌朝10:00
		小人(小・中学生)	
		幼児(小学生未満)	
休 憩	1日1回	栈敷(1区画)	8:00～18:00
		客室(1室)	1,000円 11:00～15:00

※食事は別料金。事前に予約が必要です。

※12月29日～翌年1月3日は休業です。

姉妹都市活動室

英語力および国際感覚の向上をめざしている「姉妹都市活動室」では、より多くの人に参加していただき、国際交流のすそ野を広げようと会員を募集しています。

例会は、月2回、福祉文化会館（オークシアター）で、外国人ゲストを迎えての講演会や研究会などを英語で行っています。どうぞお気軽にご参加下さい。

- 〈例会〉 木曜会 第1木曜日午前10時
土曜会 第3土曜日午後2時
- 〈会費(年額)〉 正会員 2,000円(18歳以上)
準会員 1,000円(中・高校生)

W
E
L
C
O
M
E

青少年活動室

英語で話ができたらなあ…、外国の人とお友達になれたらなあ…と思っている人はいませんか？

「青少年活動室」では、中学生、高校生を中心に、外人ゲストを迎えて、話したり、歌ったり、ゲームをしたり等、楽しみながら英語に親しむ“サロン”を開いています。

活動は、月一回、原則として第4日曜日の午後2時から福祉文化会館（オークシアター）で行っています。

会費は無料、服装などは自由ですので、友達をさそって、気軽に参加して下さい。

平成3年度の国際交流予定

ミ市でサマーキャンプを!



森と湖の豊かなミネアポリス市

今年度は、3つの市民訪問団の派遣を計画しています。

安慶市へは現在、市民24人からなる親善訪中団が訪問中です。

7月には12日間の日程で、中・高・大学生を中心とした市民親善訪問団がミネアポリス市を訪れ、森や湖など豊かな自然環境の中でサマーキャンプを実施し、また、3泊のホームステイを行います。ロスアンゼルスでは、ディズニールランド見学もあります。同時に、成人の方も募集し、学生達のキ

ャンプ中、ナイアガラの滝見学をオプションで組んでいます。

11月は、3回目になる内海町への市民訪問団を派遣し、昨年と同じく美しい紅葉を鑑賞していただきたいと考えています。

この他、11月下旬には、ミネアポリス市から音楽グループの来茨が予定されています。

定例事業として、6月24日にゴルフコンペ、11月3日には英語スピーチ大会を開催し、会員どおしで親睦を深め、また、若い世代の国際交流参加者を募ります。

また、中国との行政間交流は10月にあります。

寄付

本市の国際交流事業の推進のためにと、次の方々から温かいご寄付をいただきました。ご好意に心からお礼申し上げます。(10月～4月、敬称略)

〈協会へ〉 2月 阿部彦幸(1万円)

〈市へ〉 11月 旭隆電気工事(株)(100万円)

3月 本谷隆三(500万円)

茨木市における国際交流の足あと

—— 第15号以降の経過 ——

(1990年)

- 2. 10 市教育委員会学務課長藤原佳男氏、市児童福祉課参事兼あけぼの学園長諸富敬章氏、海外研修のためミネアポリス市訪問
- 10 市議会副議長山下慶喜氏、市議会議員中内和一氏ミネアポリス市訪問
- 10 「安慶市経済貿易友好代表团」一行10人来茨
- 11 「茨木市友好訪中代表团」一行4人安慶市訪問
- 11 「市民訪問団」一行28人内海町訪問

(1991年)

- 3. 1 「茨木市農業指導者」一行4人安慶市訪問
- 1 「内海町婦人団体連絡協議会」一行7人来茨
- 1 ユーゴスラビア社会主義連邦共和国駐日大使ランコ・ランドロビッチ氏来茨
- 2 「茨木市身体障害者福祉協会」一行16人内海町で理事研修会
- 2 「安慶市農業技術視察団」一行5人来茨
- 3 「茨木市消費者協会」一行25人内海町で研修会
- 3 「茨木市スポーツ親善訪中団」一行34人安慶市訪問
- 3 韓国・馬山市とのテニス交流参加者16人、釜山市とのハンドボール交流参加者43人訪韓



▲市長表敬訪問のユーゴ大使

▲ミ市へ海外研修の藤原氏と諸富氏



アテナ像に見入る消費者協会の皆さん